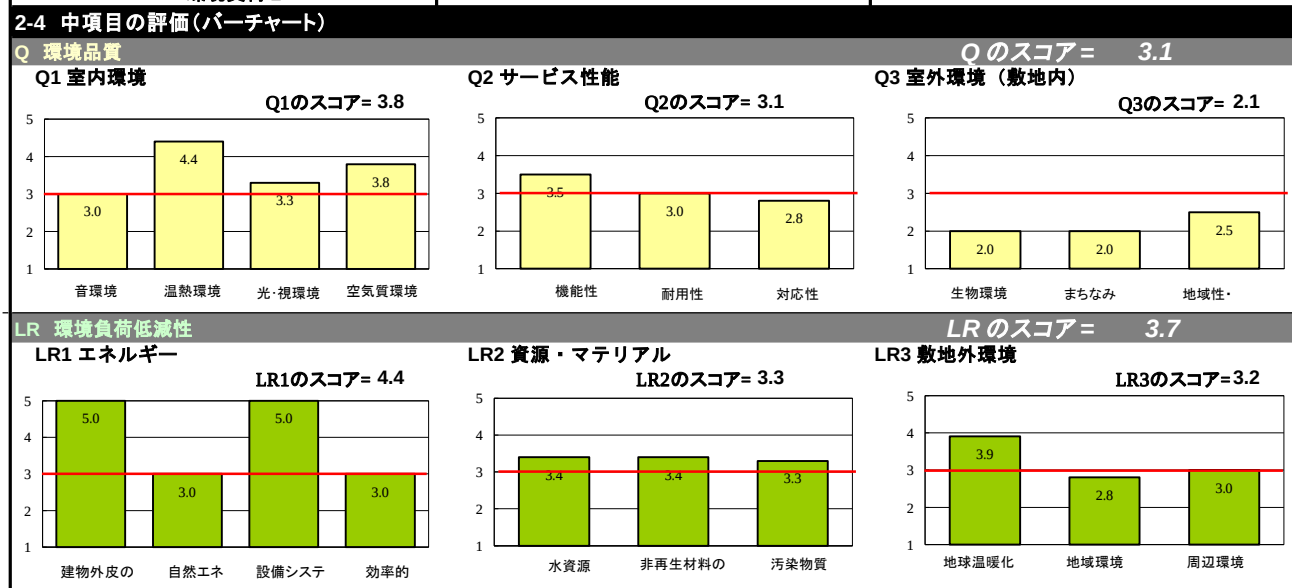
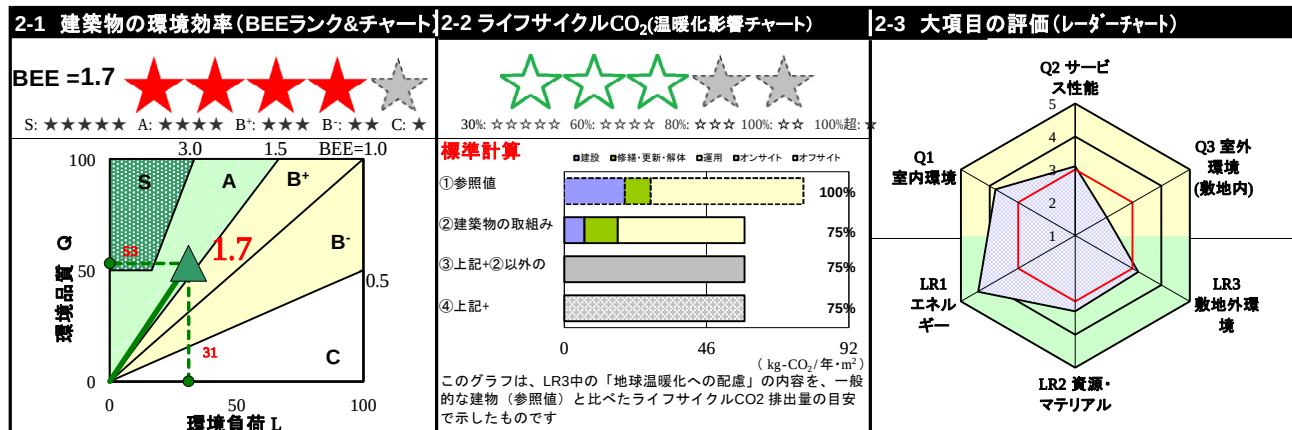
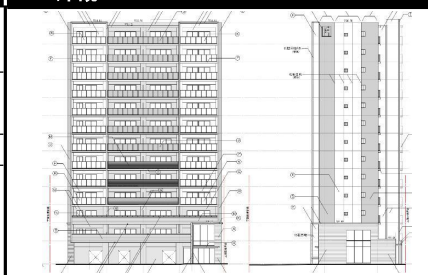


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東大阪市吉田7丁目	階数	地上13F
建設地	大阪府東大阪市吉田	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	48 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年12月 予定	評価の実施日	2025年7月28日
敷地面積	651 m ²	作成者	株式会社 永都設計
建築面積	319 m ²	確認日	2025年7月28日
延床面積	2,770 m ²	確認者	株式会社 永都設計



3 設計上の配慮事項	
総合	その他
建物利用者の快適な生活環境を維持するため建築物の耐用年数を高め、省エネルギー性等で環境にも配慮している。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
断熱等性能等級 等級5の取得や、F☆☆☆☆の建材を使用するなど、室内の温熱環境やシックハウス対策に配慮している。	劣化対策等級 等級3を取得し躯体材料の耐用年数を高め、更新必要間隔の長い給排水配管を使用することで建物の耐用年数に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	
敷地内にできる限り緑地を設けて良好な温熱環境に心がけている。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
断熱等性能等級 等級5を取得、LED照明などで省エネに配慮している。	ノンフロン断熱材の採用やリサイクル材を使用し、資源の有効利用を心がけている。
LR3 敷地外環境	
ライフサイクルCO ₂ の排出を抑制し地球温暖化に配慮をしている。また屋外広告物照明の設置は行わないなど敷地外環境に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)東大阪市吉田7丁目					
建設地		大阪府東大阪市吉田					
用途／区分		集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	断熱性能						5
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分					5
④	エネルギー消費性能						5
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分 非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	 評価対象外				2 評価対象外
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	対象外
--	-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	3.9	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2. 2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		